

施策番号 V-2-1

若年者等に対して段階に応じた職業キャリア支援を講ずること

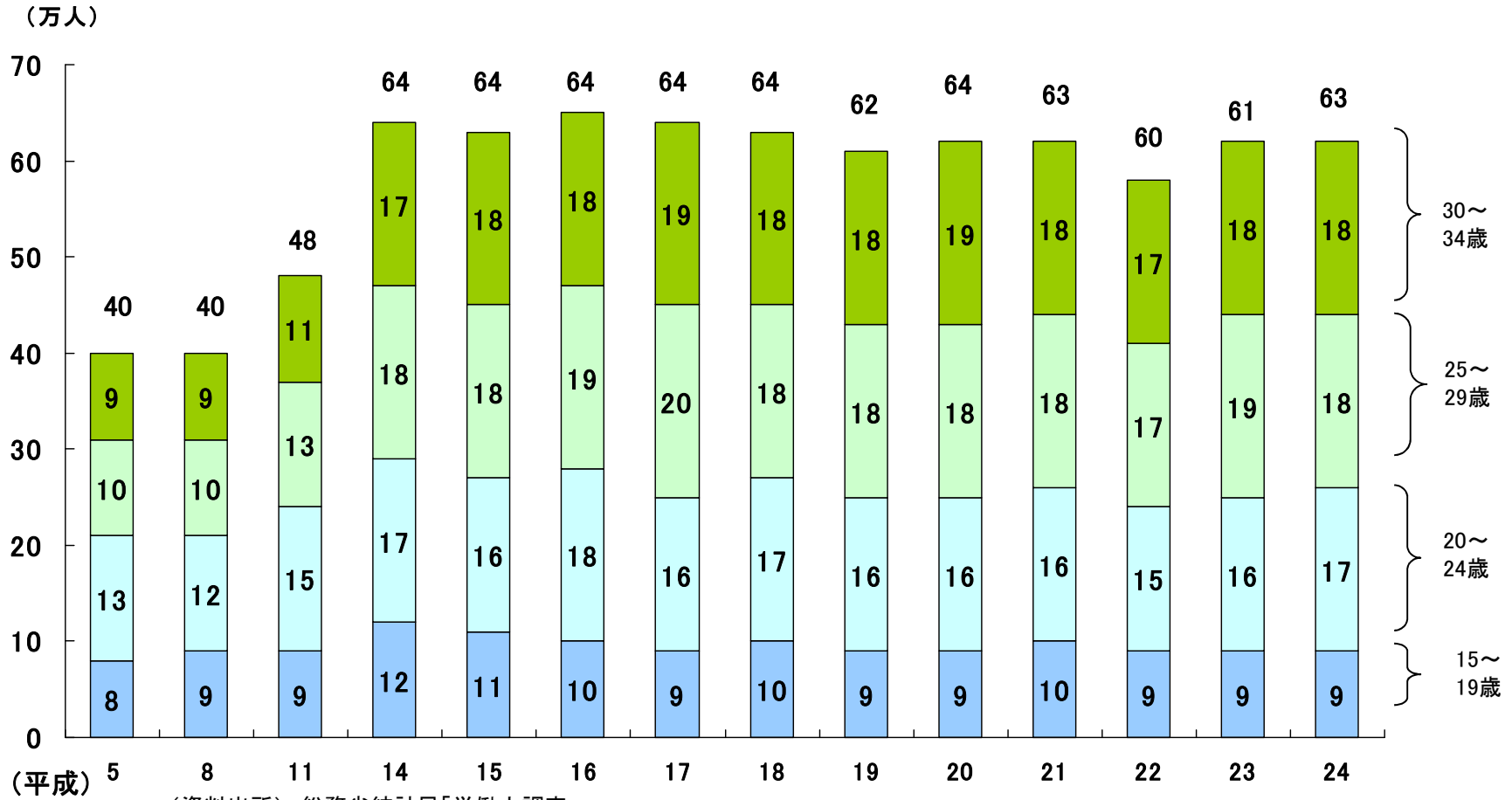
平成25年7月4日

厚生労働省職業能力開発局

ニート(15~34歳)の数の状況

- 15~34歳のニート(注)の数は、平成14年以降60万人台の水準で推移
- 平成24年は、前年より2万人の増加

若年無業者(15~34歳)の数の推移



(資料出所) 総務省統計局「労働力調査」

(注) 「ニート」の定義は、15~34歳で、非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者

地域若者サポートステーション事業 ～ニート等の若者の職業的自立支援を行う～

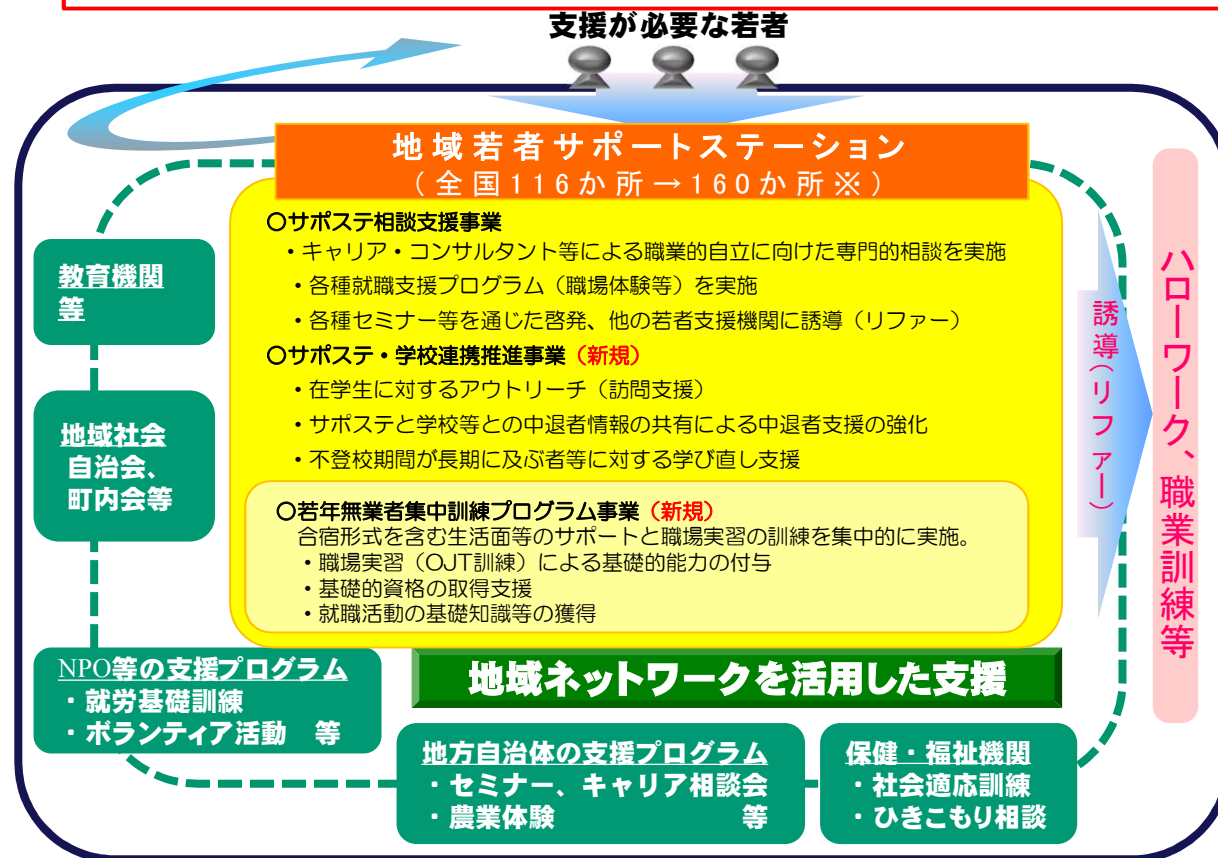


現状

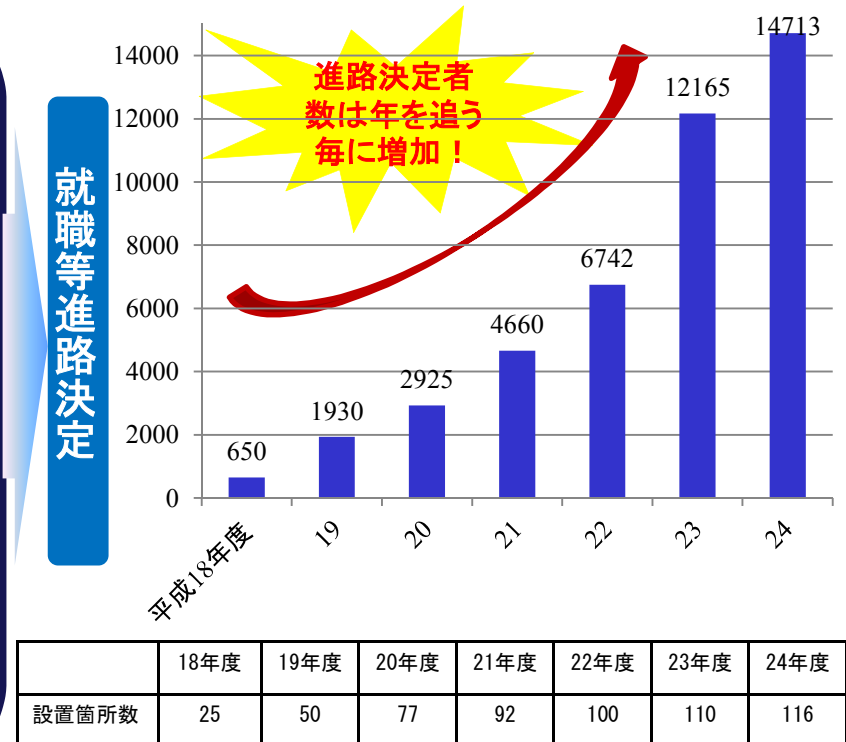
- ニート（15～34歳で、非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者）の数は、若者が減っているにもかかわらず、高止まり。これは、本人にとって損失であるだけでなく、労働市場に参入せず生活保護へ転落するおそれがあるなど社会にとっても大きな損失。
- ニート等の若者の職業的自立を支援するためには、各人の置かれた状況に応じて支援を行っていくことが必要。
- このため、「地域若者サポートステーション」（愛称：サポステ）において、地方自治体と協働し、地域ネットワークを活用した支援を実施している（平成18年度～。若者支援の実績・ノウハウのあるNPO法人等に委託して実施。）。

24年度補正予算の内容（予算額：60億円）

サポステの設置拠点を拡充するとともに、「サポステ・学校連携推進事業」により学校との連携を構築し、在學生・中退者支援を推進することによりニート化の未然防止等を図る。加えて、合宿形式を含む生活面等のサポートと職場実習の訓練を集中的に行う「若年無業者等集中訓練プログラム事業」を実施し、ニート等の若者の就労を強力に支援する。



【サポステの実績の推移】



※平成25年5月現在149か所